



ふとん乾燥機保証書

持込修理

取扱説明書・本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。この製品は持込修理対象製品ですので、郵送などで修理依頼された場合の送料などはお客様負担となります。

型名	RF-EA20		修理メモ
※お客様 お名前	電話番号		
※お客様 ご住所 〒			
※お買い上げ日 年 月 日	※販売店名・住所・電話番号		
保証期間 お買い上げ日より 本体1年			

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ご転居・ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りや不当な修理・改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害・塩害・虫害・ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧・指定外の使用電源（電圧・周波数）などによる故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 車両・船舶などに搭載された場合の故障および損傷。
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
 - (チ) 消耗品などの交換。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

●お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます場合がございますので、ご了承ください。

●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社

〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 電話(06)6356-2451

愛情点検

長年ご使用のふとん乾燥機の点検を！



こ
あ
り
な
ま
せ
ん
状
況
は
か

- キーを押しても運転しないことがある
- コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中に焦げくさいにおいがしたり、異常な音や振動がする
- その他の異常や故障がある

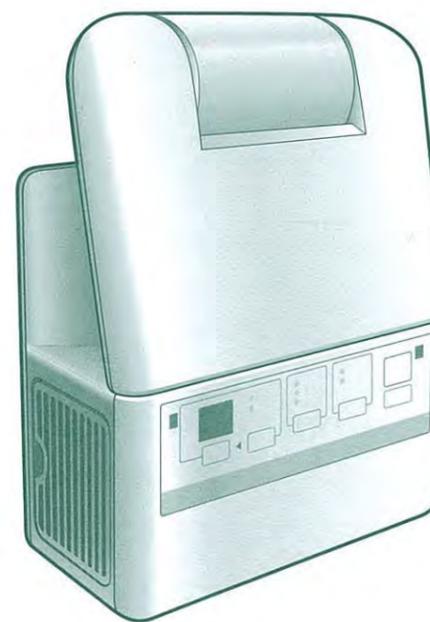
ご
使
用
中
止

こんな症状のときは、故障や事故防止のため、使用を中止し、コンセントから差し込みプラグを抜いて、必ず販売店に点検（有料）をご相談ください。

ふとん乾燥機 スマートドライ

型名 RF-EA20 型

取扱説明書



- このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

もくじ

お使いになる前に

- 安全上のご注意……………2
- 各部のなまえ……………4
- コースの説明……………6

使い方

- ふとんの乾燥・あたため……………7
- ダニ対策……………10
- 「温風」・「送風」コース……………12
- いろいろな使い方……………14

お手入れ

- お手入れ……………15
- 長期間保管するときは……………15

困ったときに

- 故障かなと思ったとき……………16
- こんな表示が出たら……………17
- 仕様……………18
- アフターサービス……………18
- お客様ご相談窓口……………19
- 保証書……………裏表紙

保証書つき

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

警告 死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。

注意 軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。

■お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。

❌ してはいけない「禁止」内容です。

⚠️ 実行しなければならない「指示」内容です。

警告

分解禁止
改造はしない
また修理技術者以外の人は分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

水ぬれ禁止
水に浸けたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。

ぬれ手禁止
ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない
感電・けがの原因になります。

禁止
交流100V以外では使用しない
火災・感電・故障の原因になります。

コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。



コードを傷つけない
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて使用したり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

次のようなものが付着した衣類は絶対乾燥しない
食用油・機械油・シンナー・ガソリン・ドライクリーニング油
自然発火の原因になります。

禁止
子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがの原因があります。
吸込口・吹出口をふさいだり、ヘアピンなどの異物を入れない
感電・異常発熱により発火や故障の原因になります。

使用中・使用直後は高温のためふとんの中に入らない。ペットなども入れない
やけどの原因があります。

必ず実施
異常・故障時には直ちに使用を中止する
そのまま使用すると発煙・発火・感電・けがの原因になります。
<異常・故障例>
●コードや差込みプラグが異常に熱くなる
●コードに深い傷や変形がある
●コードを動かすと、通電したりしなかったりする
●キーを押しても運転しない
●焦げくさいにおいがする
●異常な音や振動がする
●ビリビリと電気を感じる
●フィルターが破損している
●製品の一部分に割れ・がたつき・緩みがある など
このような場合は、すぐに差込みプラグを抜いて、販売店に必ず点検・修理を依頼する

差込みプラグは根元まで確実に差し込む
感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火の原因になります。

差込みプラグの刃(プラグの先端)や刃の根元にほこりが付着している場合は、よくふく
火災の原因になります。

注意

禁止
他の熱器具(電気毛布・あかなど)と一緒に使用しない
火災の原因になります。

本体(操作部・吸込口)をふとんの中に入れてはいけない
火災の原因になります。

水滴が落ちるような洗濯物は乾燥させない
感電の恐れがあります。

引火性のものの近くで使用しない
ガソリン・ベンジン・シンナー・スプレー・塗料など
火災の原因になります。

プラグを抜く
使用時以外は必ず差込みプラグをコンセントから抜く
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

必ず実施
差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って抜く
感電・ショート・発火の原因になります。

お願い

フィルターをはずさない
火災の原因になります。

運転中は持ち運ばない
やけどの恐れがあります。

使用中・使用直後は吹出口やノズルに触れない
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

吹出口に袋などをかぶせて使用しない
異常発熱・故障の原因になります。

ノズルに直接衣類などを掛けたり、載せたりして運転しない
異常発熱・故障の原因になります。

ノズル開閉時は、指を挟まないように注意する
けがの原因になります。

本体に乗ったり、座ったりしない
故障・破損およびけがの原因になります。

差込みプラグを抜き差しするときは、必ず運転を止めてから行う
プラグの刃やコンセントが傷み、火災の原因になります。

コードを持って製品を引っ張ったり、持ち上げたりしない
コードが破損し、火災の原因になります。

収納時にコードを本体に巻きつけない
故障の原因になります。

お手入れは本体が冷めてから行う
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

潮風が直接当たる海浜地区や温泉地帯・油煙が多い場所などの周囲環境が特殊な場所に設置して使用する場合は、製品寿命が短くなる恐れがあります。

耐熱温度の低いもの(革・合成皮革のソファなど)の上で運転しない
変形・変質の原因になります。

暖房機器の近くで使用しない
火災の原因になります。

屋外や湿気の多い浴室・シャワー室内で使用しない
感電や漏電による火災の原因になります。

押入れやクローゼットに使用するときは、閉め切った状態で運転しない
異常発熱・故障の原因になります。

窓に向けて使用しない
急激な温度差により窓ガラスが破損する原因になります。

不安定な場所で使用しない
落下・転倒による破損の原因になります。

人やペットなどに向けて使用しない
低温やけどの恐れがあります。

殺虫剤や消臭剤などをかけない
本体内へのにおい付着の原因になります。

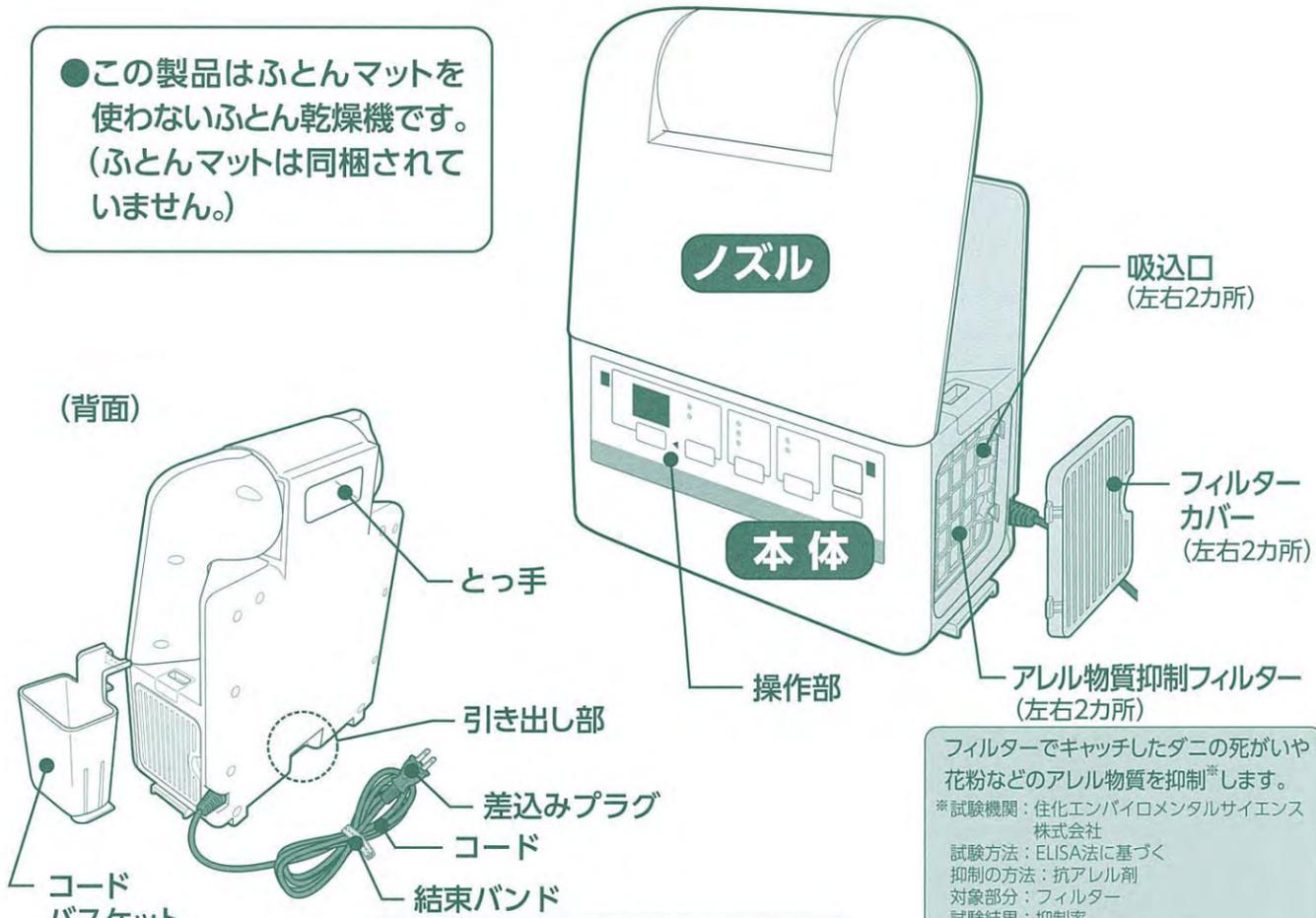
次の衣類を温風乾燥しない
皮革製品・漂白剤の付着した衣類・平干しの絵表示があるもの。縮み・変色など衣類が傷む原因になります。送風運転を使用してください。

革靴(合成皮革含む)を温風乾燥しない
変形・変質の原因になります。送風運転を使用してください。

■お買い上げの製品と本書に記載されているイラストは異なる場合があります。

各部のなまえ

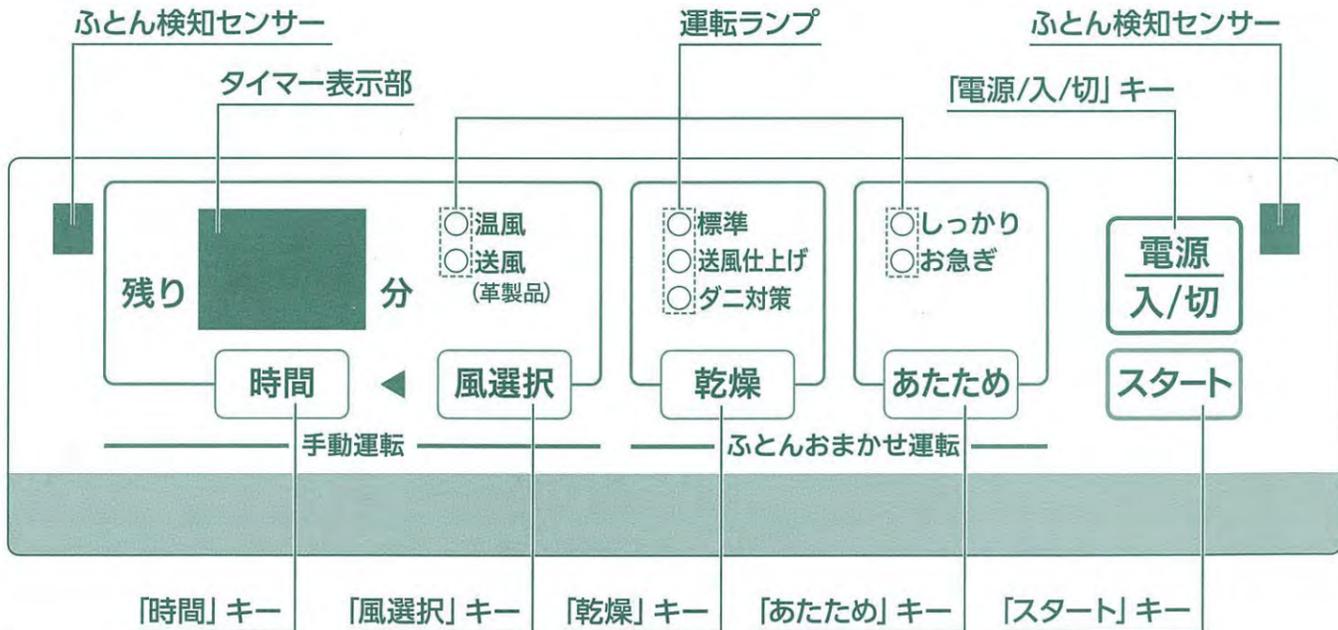
●この製品はふとんマットを使わないふとん乾燥機です。(ふとんマットは同梱されていません。)



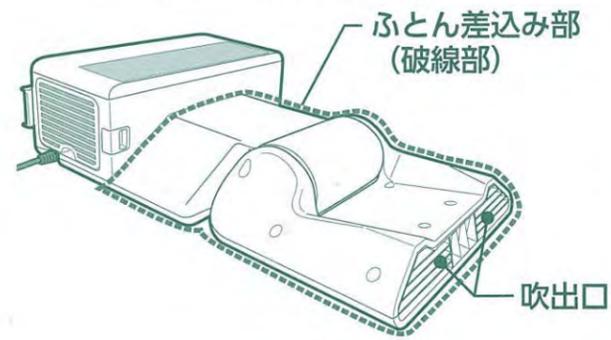
- コードは束ねて使用しないでください。(コードが熱くなり、故障の原因になります。)
- 結束バンドは使用後にコードを束ねる際にご使用ください。

フィルターでキャッチしたダニの死がいや花粉などのアレル物質を抑制^{*}します。
*試験機関：住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社
 試験方法：ELISA法に基づく
 抑制の方法：抗アレル剤
 対象部分：フィルター
 試験結果：抑制率
 ダニの死がい 98%
 スギ花粉 95%

操作部



(ノズルを全開にした状態)



●ふとん差込み部以外はふとんを掛けないでください。性能低下・火災の原因になります。

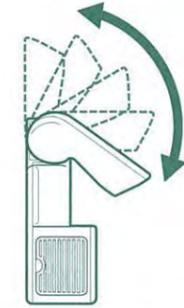
ノズルの開閉のしかた



本体をしっかり押さえながら開閉する

●ノズル開閉時に指を挟まないように注意してください。

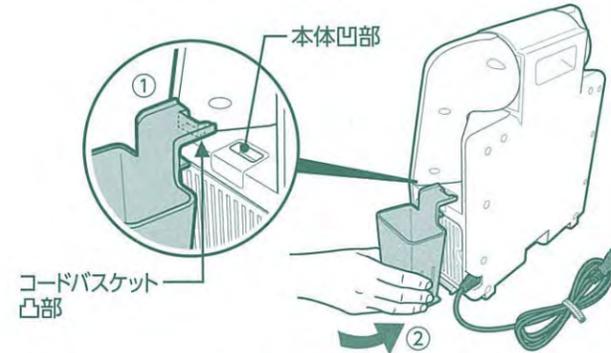
ノズルの調節について



●ノズルの角度は乾燥させたいものに合わせて調節してください。

コードバスケットの取り付け方

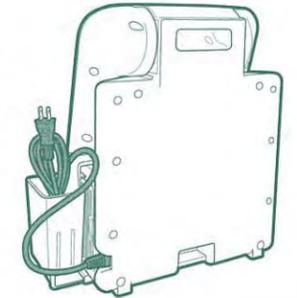
- ①本体凹部にコードバスケット凸部を差し込む
- ②コードバスケットを矢印の方向へ押しつけて取り付ける



- はずすときは逆の手順で行ってください。
- 使用するときはコードバスケットをはずしてください。

コードの収納方法

コードを束ねたあと図のようにコードバスケットに入れる



- 使用するときには必ずコードをコードバスケットから取り出してください。
- コードを収納または取り出すときは、無理に引っ張ったり、力を加えたりしないでください。
- コードは本体に巻きつけないでください。コードが破損し、火災・感電の原因になります。

安全機構について

ふとん検知センサー

操作部をふとんの中に入れたり、操作部にふとんを掛けた状態が2秒以上続くとふとん検知センサーが働いて、運転を停止します。(ブザー音とタイマー表示部に「H0」を表示し、お知らせします。)→P.17 運転を再開するときは、ふとんを正しくセットしたあと、「スタート」キーを押してください。

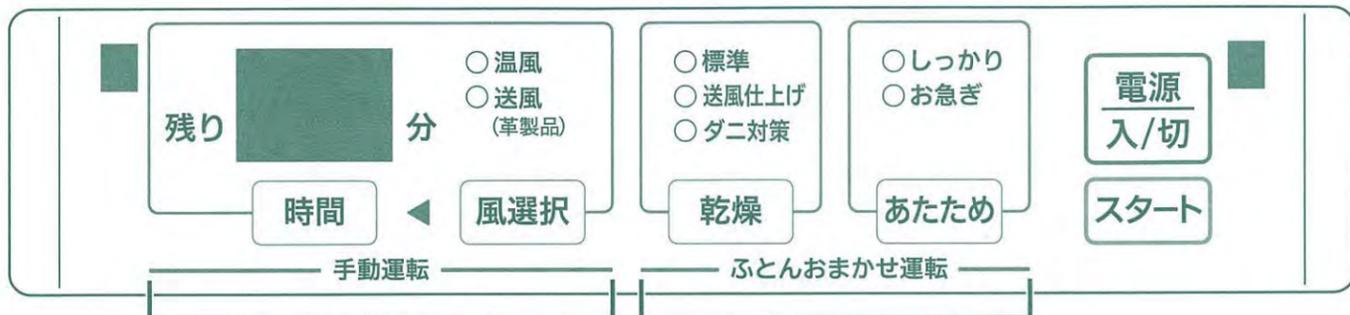
●ふとん検知センサーは、ふとん以外のものを近づけても反応しますのでご注意ください。

温度調節器

室温の高い部屋で使用する場合や、吸込口・吹出口がふさがれたときなど、温風温度や本体内部の温度が上昇すると、温度調節器(本体に内蔵)が作動します。温度調節器が作動するとヒーターをON/OFFしながら運転をするため、「カチッ」と音がすることがありますが異常ではありません。

コースの説明

- 工場出荷時は乾燥「標準」コースに設定されています。
- 2回目以降は選択したコース・運転時間を記憶しています。(差込みプラグを抜いても記憶しています。)
- 耐熱温度が温風温度より低いものは乾燥させないでください。



運転時間を設定したいときやふとん以外のものを乾燥させたいときは…

ふとんを乾燥させたいときは…

手動運転

運転時間を設定できます。(最大180分まで設定できます。)

時間 風選択

「温風」コース 運転時間 5分～180分

- まくらを乾燥させたいとき
 - ダブルサイズのふとんを乾燥させたいとき
 - 衣類や運動靴を乾燥させたいとき
 - ふとんおまかせ運転で設定された運転時間以外の時間でふとんを乾燥させたいとき
- 最大風量で温風運転します。

「送風」(革製品)コース 運転時間 5分～180分

- 革製品・合成皮革・革靴・ブーツなど熱に弱いものを乾燥させたいとき
- 最大風量で送風運転します。

参照ページ P.12～14 (ふとんの場合はP.7～9)

ふとんおまかせ運転

コースごとに所定の時間で運転します。(運転時間は設定できません。)
温風温度は70℃以下に設定されています。

乾燥

「標準」コース 運転時間 60分

ふとんを効率よく乾燥させたいとき

送風 (1分) → 温風 (59分)

最大風量でふとんを持ち上げ、風の通り道を作ります。

室温やふとんのセット状態に合わせて最適な風量に調整し、ふとんを乾燥します。

「送風仕上げ」コース 運転時間 75分

ふとん乾燥後の熱気を取り除きたいとき

- 「標準」コースに加え、送風運転を行います。

送風 (1分) → 温風 (59分) → 送風 (15分)

「標準」コースと同じです。

送風運転で熱気を取り除きます。

「ダニ対策」コース 運転時間 360分(90分×4回)

ふとんのダニ対策をしたいとき

- 風量を抑え、「標準」コースよりも高い温風温度で運転します。

温風 (90分) ×4回

1回あたり90分で、ふとんの向きをかえて4回運転します。

ダニ対策の使い方は P.10～11

あたため

「しっかり」コース 運転時間 30分

すみずみまでしっかりあたためたいとき

温風 (30分)

「お急ぎ」コース 運転時間 10分

寝るスペースを重点的にすばやくあたためたいとき

- 「お急ぎ」コースで運転すると、寝るスペースはすばやくあたためられますが、ふとんの両端は十分にあたためられない場合があります。

送風 (30秒) → 温風 (9分) → 温風/低温 (30秒)

最大風量でふとんを持ち上げ、風の通り道を作ります。

最大風量で運転し、室温やふとんのセット状態に合わせて最適な温度に調整し、すばやく足元まであたためます。

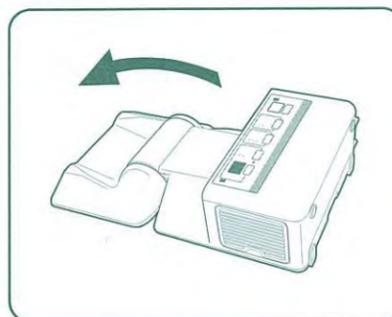
低い温風温度で運転し、温度ムラを少なく仕上げます。

参照ページ P.7～9

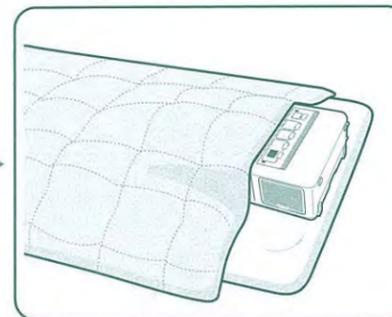
ふとんの乾燥・あたたため

●この製品は面倒なマット・ホースを使わない簡単で使いやすいふとん乾燥機です。

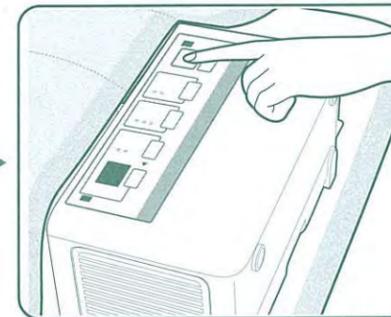
1 パツと開いて



2 セットして



3 スイッチON!



●「羊毛」「羽毛」「綿」「化学繊維」などのふとんを乾燥できます。

ふとんサイズの目安

シングルサイズ

- 敷きふとん……100×210cm
- 掛けふとん……150×210cm

- ダブルサイズを乾燥するときは手動運転の「温風」コースを使用してください。(運転時間の目安:120分) (→P.9)
- シーツやふとんカバーをつけたままでも使用できます。

- 乾燥させるふとんの耐熱温度がP.6に記載されている各コースの温風温度以上であることを確認してください。特に機能性寝具(低反発や高反発素材・ビーズ素材・パイプまくらなど)は温風の温度により機能を損なうことがありますので、必ず寝具メーカーに確認してください。

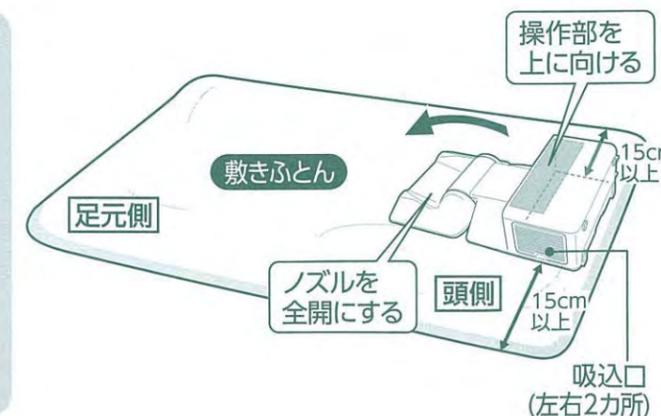
ふとんおまかせ運転を使うとき

1

敷きふとんの上に本体を置く

ノズルを全開にし、操作部を上に向けた状態で図のように本体を置いてください。

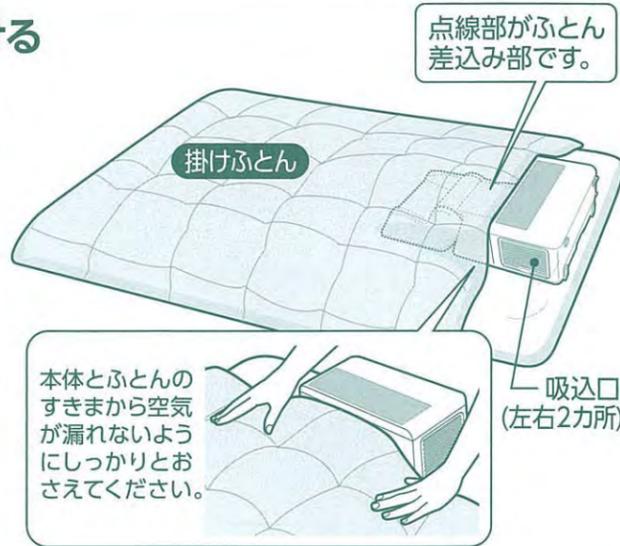
- 吸込口は壁などから15cm以上離してください。
- 本体が敷きふとんからはみ出すなど、不安定な置き方をしないでください。
- 下記のような場合は、運転中に床面が湿ることがありますので、敷きふとんと床面の間にタオルケットなどを敷いてください。
 - 床面がフローリングやクッションフロアなどのとき
 - 湿度が高い部屋や、梅雨時期・冬場など
 - 湿気が多いふとん(長期間使用していないふとん)
 (敷いたものは運転終了後に冷めてから取り除いてください。)



ふとんの乾燥・あたため つづき

2 掛けふとんをふとん差込み部に掛ける

- 本体（操作部・吸込口）をふとんの中に入れてください。
- 操作部に掛けふとんが掛からないようにしてください。（ふとん検知センサーが働き、運転を停止します。）
- タオルケットや毛布などを乾燥させるときは、軽めのふとんを重ねて掛けてください。
- 吸込口をふさがないでください。
- 敷きふとんを掛けて運転しないでください。（ふとんの重さなどにより性能が得られません。）
- 敷きふとんのみで運転すると乾燥できません。必ず掛けふとんを掛けて使用してください。
- 頭側の掛けふとんが掛かっていない部分は、十分に乾燥しないことがあります。乾燥が不十分に感じるときは、足元側に本体を置いて再度運転してください。



3 差込みプラグをコンセントに差し込み、

電源入/切 を押す



4 乾燥 または あたため を押し、コースを選ぶ

キーを押すごとに運転ランプ（点滅）が移動して設定が切りかわります。



- 「ダニ対策」の使い方はP.10～11をご覧ください。
- 「しっかり」コースと「お急ぎ」コースはふとんをあたためるコースです。乾燥はできません。

5 スタート を押す



選択したコースの運転ランプが点灯にかわり、運転を開始します。（残り時間を1分単位で表示）
運転が終了するとブザーが鳴り、タイマー表示部に「0」を表示します。その後、自動で電源が切れます。（運転ランプとタイマー表示部消灯）

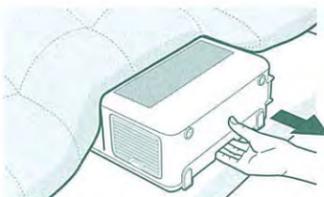
途中で終了したいときやコースを変更するときは

- ①「電源/入/切」キーを押す
● 本体冷却のため約20秒間送風したあと、運転を停止します。（冷却中に差込みプラグを抜かないでください。）
- ②コースを変更する場合は続いて手順3～5を行う

- 「スタート」キーを押さずに10分経過すると自動的に電源が切れます。
- 運転終了後、乾燥が足りないときは、再度乾燥させてください。

6 使用後は差込みプラグをコンセントから抜く

- 運転終了後は本体が熱くなっていますので、注意して取り出してください。
- 取り出すときは、引き出し部を持ってふとんから引き出してください。
- 使用しないときはノズルを閉じて保管してください。



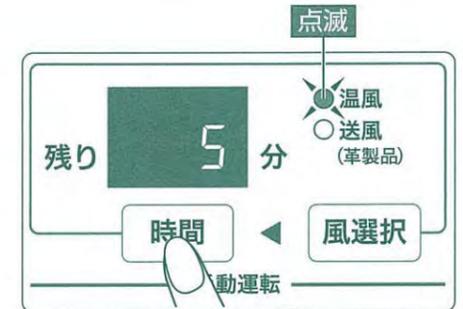
手動運転を使うとき

- ダブルサイズのふとんを乾燥させたいとき
- ふとんおまかせ運転で設定された運転時間以外の時間でふとんを乾燥させたいとき

1～3 までの手順は「ふとんおまかせ運転を使うとき」(P.7～8)をご覧ください。

4 ① 風選択 を押し、コースを選ぶ

キーを押すごとに運転ランプ（点滅）が移動して設定が切りかわります。



② 時間 を押し、運転時間を設定する



- ダブルサイズのふとんを乾燥させるときは「温風」コースを選択してください。（運転時間の目安：120分）
- 最大180分まで設定できます。5～60分は5分刻み、60～180分は10分刻みで設定できます。
- 「時間」キーを押し続けると早送りできます。表示が「5」になると止まります。

5 スタート を押す



選択したコースの運転ランプが点灯にかわり、運転を開始します。（残り時間を1分単位で表示）
運転が終了するとブザーが鳴り、タイマー表示部に「0」を表示します。その後、自動で電源が切れます。（運転ランプとタイマー表示部消灯）

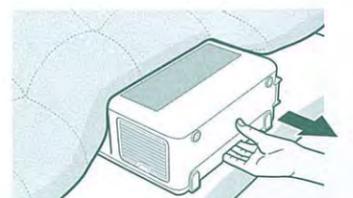
途中で終了したいときやコースを変更するときは

- ①「電源/入/切」キーを押す
● 本体冷却のため約20秒間送風したあと、運転を停止します。（冷却中に差込みプラグを抜かないでください。）
- ②コースを変更する場合は続いて手順3～5を行う

- 「スタート」キーを押さずに10分経過すると自動的に電源が切れます。
- 運転中に「時間」キーを押すと運転時間を変更できますが、6時間連続で運転すると安全のために運転を停止します。
- 運転終了後、乾燥が足りないときは、再度乾燥させてください。

6 使用後は差込みプラグをコンセントから抜く

- 運転終了後は本体が熱くなっていますので、注意して取り出してください。
- 取り出すときは、引き出し部を持ってふとんから引き出してください。
- 使用しないときはノズルを閉じて保管してください。



ダニ対策

- 「標準」コースよりも高い温風温度でダニ対策する範囲を乾燥させます。
- ダニは逃げることもあるため、対策できない場合があります。

ダニ対策に必要なもの

- 掛けふとん・敷きふとん1組……ダニ対策するふとんです。
- 軽めの掛けふとん、または毛布……保温用のふとんです。
- 掃除機……運転終了後、ダニの死がいやフンを取り除くために必要です。

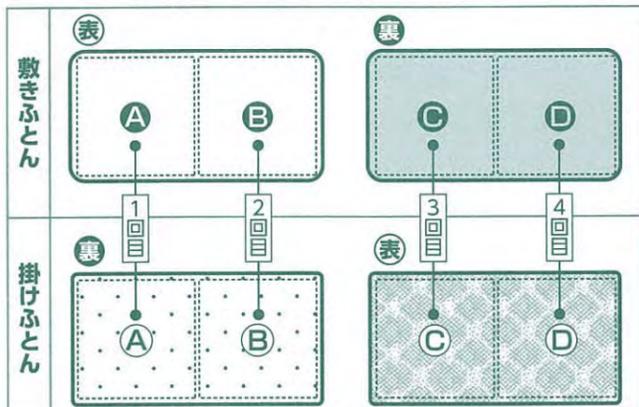
すべての面(4面)のダニ対策に必要な時間

- 「ダニ対策」コース90分×4回:360分(約6時間)

- ダニの種類によってはダニ対策できないものもあります。
- 温風が届きにくいところ(ふとんのすみなど)や冬場など室温が低いときは、温度が上がらないため、十分にダニ対策ができないことがあります。
- ふとんの耐熱温度がP.6に記載されている温風温度以上であることを確認してください。

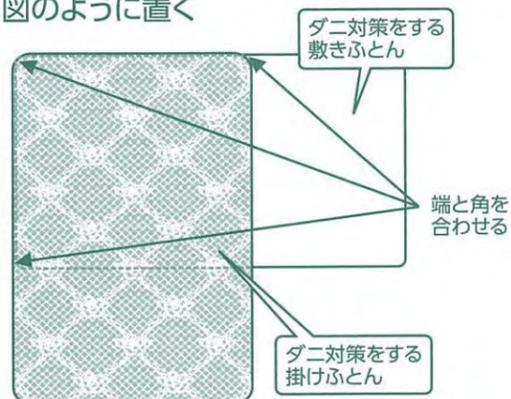
1回の運転でのダニ対策の範囲

- 1回目……敷きふとん「表-A」と掛けふとん「裏-A」をダニ対策
- 2回目……敷きふとん「表-B」と掛けふとん「裏-B」をダニ対策
- 3回目……敷きふとん「裏-C」と掛けふとん「表-C」をダニ対策
- 4回目……敷きふとん「裏-D」と掛けふとん「表-D」をダニ対策

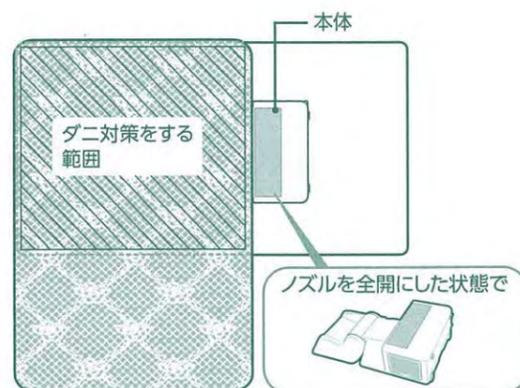


1 ふとんと本体をセットする

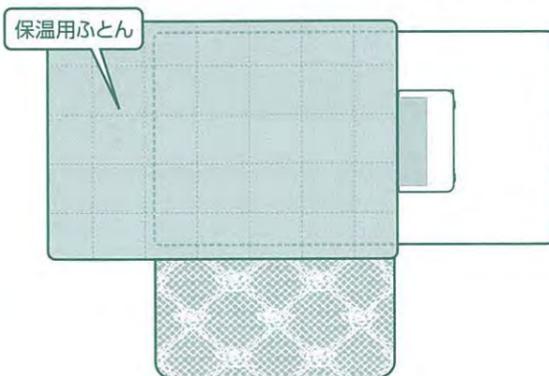
①ダニ対策をする掛けふとん・敷きふとんを図のように置く



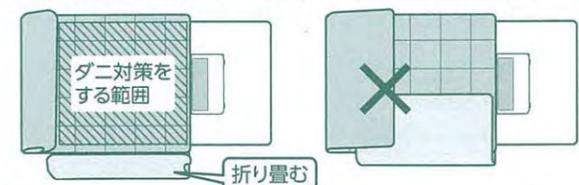
②ノズルを全開にした状態で本体を置く



③ダニ対策をするふとんに保温用のふとんを図のように掛ける



- 掛けふとん・保温用ふとんの端が邪魔なときはダニ対策をする範囲にかからないように折り畳んでください。ダニ対策をする範囲にかかったり、敷きふとんの下に折り込むと十分にダニ対策ができないことがあります。



2 差し込みプラグをコンセントに差し込み、

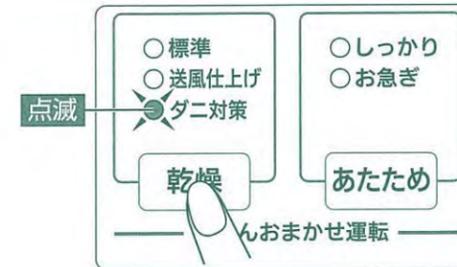
電源入/切 を押す

電源入/切

3

乾燥 を押し、「ダニ対策」コースを選ぶ

キーを押すごとに運転ランプ(点滅)が移動して設定が切りかわります。



4

スタート を押す

スタート

- 「スタート」キーを押さずに10分経過すると自動的に電源が切れます。

運転ランプ(ダニ対策)が点灯にかわり、運転を開始します。(残り時間を1分単位で表示) 運転が終了するとブザーが鳴り、タイマー表示部に「0」を表示します。その後、自動で電源が切れます。(運転ランプとタイマー表示部消灯)

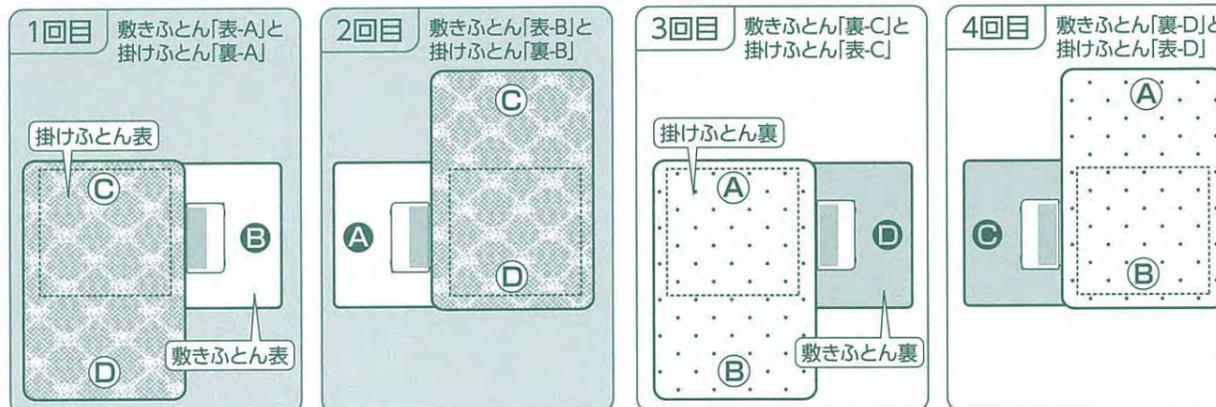
- 途中で終了したいときやコースを変更するときは
- ①「電源/入/切」キーを押す
 - 本体冷却のため約20秒間送風したあと、運転を停止します。(冷却中に差し込みプラグを抜かないでください。)
 - ②コースを変更する場合は続いてP.8の手順3～5またはP.9の手順1～5を行う

5

ダニ対策されていない面が乾燥されるように手順1の要領でふとんと本体をセットし、手順2～4を繰り返す

- すべての面のダニ対策を完了するためには、ふとんの面をかえて、手順1～4を計4回行う必要があります。

- 敷きふとんは動かさずに掛けふとんと本体を図のように移動させて、保温用のふとんをかけてください。
- 2回目の運転が終了したら、掛けふとん・敷きふとんをそれぞれ裏返し、ダニ対策をします。



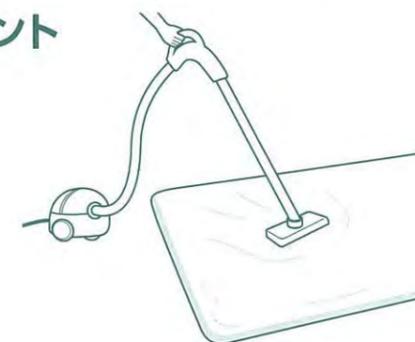
◎1回目～4回目の順番を入れ替えてもダニ対策できます。

6

すべての運転終了後、差し込みプラグをコンセントから抜き、ふとんに掃除機をかける

- 運転終了後は本体が熱くなっていますので、注意して取り出してください。
- 使用しないときはノズルを閉じて保管してください。

ダニの死がいやフンなどは、アレルギー疾患の誘因になりますので掃除機でよく取り除いてください。(その際、掃除機用の「ふとんノズル」などをつけると、より効果的です。)



「温風」・「送風」コース

- 「温風」コース…まくら・衣類・運動靴などの乾燥に
- 「送風」コース…革製品(合成皮革含む)など熱に弱いものの乾燥に

お願い

- 乾燥させる衣類やまくらなどの耐熱温度がP.6に記載されている温風温度以上であることを確認してください。特に機能性寝具(低反発や高反発素材・ビーズ素材・パイプまくらなど)は温風の温度により機能を損なうことがありますので、必ず寝具メーカーに確認してください。
- 耐熱温度に応じてコースを選択してください。
 - 70℃以上……………「温風」コース
 - 70℃未満……………「送風」コース
- 吹出口の真上に衣類などを干して乾燥させないでください。
- 本体(操作部)にもものを近づけすぎるとふとん検知センサーが動きますので近づけすぎないでください。
- 雨でぬれた靴やブーツなどは、あらかじめ乾いた布で水分を取ってから乾燥させてください。
- 運動靴のひもは結び目を緩めて、靴の内側に入れて乾燥させてください。

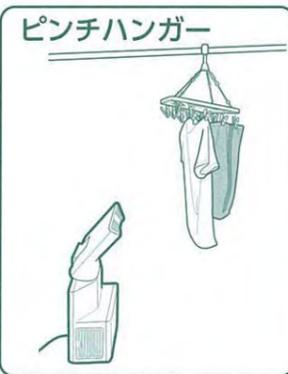
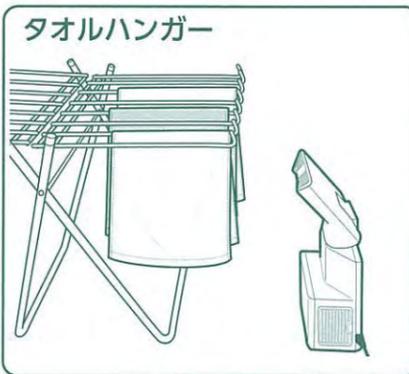
1 ノズルを開き、乾燥させるものに吹出口を向ける

まくら



- 乾燥させたい面に風が当たるように向けてください。
- まくらの乾きが不十分に感じるときは、向きを変えるなどして再度運転してください。まくらは材質や形状によって乾燥時間がかわるため、運転時間を調節してください。

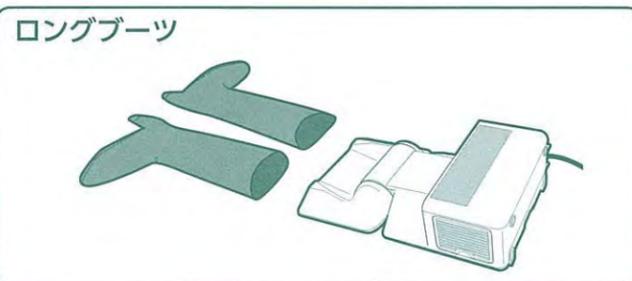
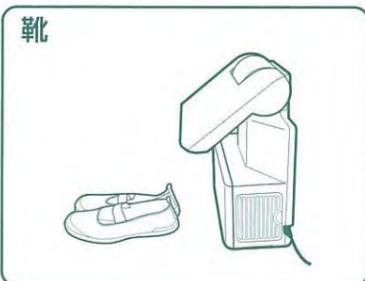
衣類



こんなときに

- 生乾きの洗濯物の乾燥に
- 洗濯物のゴムの部分やポケットの裏生地などの乾きにくい部分の乾燥に

靴・ブーツ



2

差込みプラグをコンセントに差し込み、

電源入/切 を押す



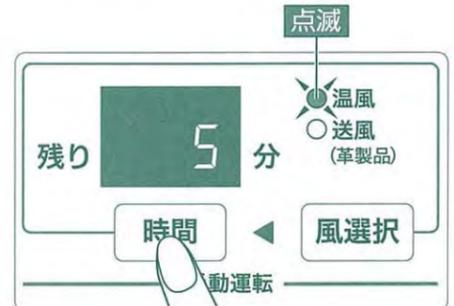
3

① **風選択** を押し、コースを選ぶ

キーを押すごとに運転ランプ(点滅)が移動して設定が切りかわります。



② **時間** を押し、運転時間を設定する



- 最大180分まで設定できます。5~60分は5分刻み、60~180分は10分刻みで設定できます。
- 「時間」キーを押し続けると早送りできます。表示が「5」になると止まります。

乾燥時間の目安

乾燥させるもの	コース	数量・条件など	乾燥時間(目安)
まくら	温風	1個	30分
タオル		フェイスタオル 10枚	120分
		バスタオル 2枚	
体操服		上下1組	45分
上靴		1足(ビニール製)	30分
運動靴	1足	120分	
ロングブーツ	送風	1足(革製)	120分

乾燥の条件

- 部屋の広さ: 6畳
- 室温: 20℃
- 湿度: 70%
- まくらは使用する面(片面)をしめらしたもの
- 衣類などは家庭用洗濯機で約5分間脱水させたもの
- 靴などは乾いた布で水分をふき取ったもの

●使用環境(部屋の広さ、温度、湿度など)・使用条件(衣類の干し方、種類など)によって乾燥時間が異なる場合があります。乾燥が足りないときは、再度乾燥させてください。

4

スタート を押す



選択したコースの運転ランプが点灯にかわり、運転を開始します。(残り時間を1分単位で表示) 運転が終了するとブザーが鳴り、タイマー表示部に「0」を表示します。その後、自動で電源が切れます。(運転ランプとタイマー表示部消灯)

●「スタート」キーを押さずに10分経過すると自動的に電源が切れます。

- 運転中に「時間」キーを押すと運転時間を変更できますが、6時間連続で運転すると安全のために運転を停止します。
- 運転終了後、乾燥が足りないときは、再度乾燥させてください。

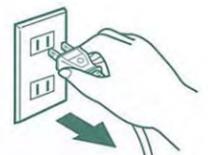
途中で終了したいときやコースを変更するときは

- ①「電源/入/切」キーを押す
 - 本体冷却のため約20秒間送風したあと、運転を停止します。(冷却中に差込みプラグを抜かないでください。)
- ②コースを変更する場合は続いてP.8の手順3~5を行う

5

使用後は差込みプラグをコンセントから抜く

- 運転終了後は本体が熱くなっていますので、注意してください。
- 使用しないときはノズルを閉じて保管してください。



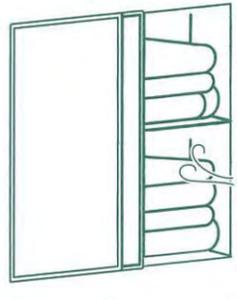
いろいろな使い方

●手動運転の「温風」または「送風」コースで運転してください。

耐熱温度	コース
70℃以上	温風
70℃未満	送風

■押入れ・クローゼット

本体を立てて置き、ふすまを開けた状態で吹出口を押入れに向ける



●本体を押入れやクローゼットの中に入れて使用しないでください。

ふすまを開けてその前で。

■タンスの引き出し・衣装ケース

本体を立てて置き、引き出しを開けた状態で吹出口を引き出しに向ける



■シンク下や洗面台の下

本体を立てて置き、とびらを開けた状態で吹出口を向ける

■赤ちゃん用ふとん

「送風」コースで運転してください。

●「温風」コースで運転した場合は低温やけどの恐れがあるため、運転後ふとんが冷めてから使用してください。

■レインコート・雨傘

水分をよくふき取り、吹出口を向ける

このような状態で運転しないでください！

十分な性能が得られなかったり、破損・故障の原因になります。

●逆さ置き 	●操作部に風を当てる 	●横置き 	●ノズルを閉じたまま 	●敷きふとんのみ
●ノズルに衣類などを直接掛ける 	●衣類などの真下に置く 	●不安定な場所 	●操作部を下に向ける 	●敷きふとんを掛ける
●不安定な置き方 	●ふとんの中に本体(操作部・吸込口)を入れる 			

お手入れ

- 本体が冷めてから行ってください。
- 差込みプラグを抜いた状態で行ってください。(けが・感電の原因)

- 製品に水をかけたり丸洗いしないでください。(故障の原因)
- 次のものは使用しないでください。
 - ・台所用中性洗剤以外の洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤など(変色・割れ・劣化・腐食の原因)
 - ・みがき粉、ナイロンたわし、ブラシ、金属製のもの、メラミンスポンジ、スポンジのナイロン面、研磨剤入り洗剤など(表面が傷つく原因)
- 化学ぞうきんを使用する場合は、強くふいたり長時間触れさせたりしないでください。(表面が傷ついたり、化学変化をおこす原因)
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥器は使用しないでください。(傷・変形・変色の原因)

本体 ノズル フィルターカバー

- ①水で薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れをふき取る
- ②固く絞った柔らかい布でふく
- ③乾いた柔らかい布で水分をふき取る

コード

乾いた柔らかい布でふく

フィルター部

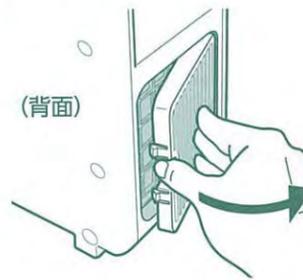
ほこりがたまっているときは、フィルターカバーをはずし、掃除機で吸い取る

- フィルターが破れないように注意してください。
- フィルターははずさないでください。



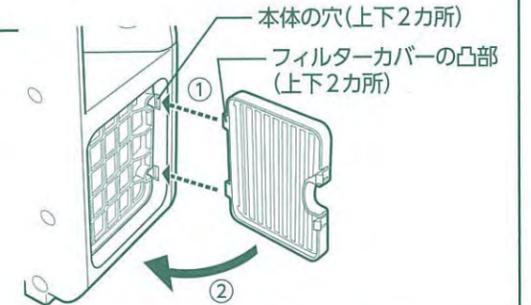
フィルターカバーのはずし方・つけ方

●はずし方



●つけ方

- ①本体の穴にフィルターカバーの凸部を差し込む
- ②フィルターカバーを押しつけて取りつける



長期間保管するときは

- ①各部のお手入れをする
 - ②ノズルを閉じて、製品をポリ袋などに入れて密封し、個装箱に入れて保管する
- コードや差込みプラグはポリ袋の中に入れて、緩衝材と直接触れないようにしてください。

お願い

コードの傷みやほこりのたまりが思わぬ災害の原因になることがあります。安全に長期間使用していただくため、ときどきお買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

故障かなと思ったとき



●修理を依頼される前に一度お調べください。

こんなときは	お調べいただくこと	直し方
運転しない	差し込みプラグがコンセントからはずれていませんか？	差し込みプラグをコンセントに接続してください。
	「電源/入/切」キーを押しましたか？	「電源/入/切」キーを押してください。
	「スタート」キーを押しましたか？	「スタート」キーを押してください。
温風が出ない	「送風」コースを選んでいませんか？	コースを選び直してください。
	吸込口や吹出口がふさがっていませんか？	吸込口・吹出口をふさいでいるものを取り除き、再度運転してください。
ふとんが乾燥しない ふとんがあたたまらない	以下の運転コースでは運転開始後、一定時間は送風運転します。 ふとんおまかせ乾燥(「標準」・「送風仕上げ」)コース あたため「お急ぎ」コース コースにより送風運転の時間は異なります。(→P.6)	
	ふとんは正しくセットされていますか？	ふとんを正しくセットしてください。(→P.7~8)
	吸込口や吹出口がふさがっていませんか？	吸込口・吹出口をふさいでいるものを取り除き、再度運転してください。
	フィルターが汚れていませんか？	フィルター部をお手入れしてください。(→P.15)
	ノズルは全開になっていますか？	ノズルを全開にして使用してください。
	掛けふとんの上にものを置いていませんか？	ものを取り除いてください。
	ふとんが壁に密着していませんか？	ふとんを壁から離してください。
	掛けふとんを敷きふとんの下に折り込んでいませんか？	掛けふとんを敷きふとんの下に折り込まないでください。
	重たいふとんを使用していないですか？	重たいふとんを使用するときは、温風が全体に行き渡るように運転開始後、掛けふとんの中央部を軽く持ち上げてください。
	ふとんの材質や形状によっては乾燥しにくい場合やあたたまりにくい場合がありますので、再度運転してください。	
あたため「お急ぎ」コースで運転すると、ふとんがあたたまらない	ふとんが汗などで湿っていませんか？	乾燥(「標準」・「送風仕上げ」)コースで運転し、ふとんを乾燥してください。ふとんが湿っていない場合は、あたため「しっかり」コースにて再度運転してください。
ふとんや衣類が乾燥しない	あたため(「しっかり」・「お急ぎ」)コースを選んでいませんか？	乾燥(「標準」・「送風仕上げ」)コースか「温風」コースを選び直してください。
運転中に「カチッ」と音がする	温度調節器が動作している音です。異常ではありません。P.5「安全機構について」をご覧ください。	

こんな表示が出たら

こんなときは	お調べいただくこと	直し方
ブザー(ピピッ、ピピッ…)が鳴り続け、タイマー表示部に「H0」を表示する 	ふとん検知センサーが働いています。	ふとん検知センサーの上にものがかぶらないようにして、「スタート」キーを押してください。
ふとん検知センサーについて <ul style="list-style-type: none"> ●ふとん検知センサーは操作部に2カ所あります。 ●以下のような使い方を2秒以上続けると、ふとん検知センサーが働いて運転を停止します。(ブザー音とタイマー表示部に「H0」を表示し、お知らせします。) <p>ふとん検知センサーは、ふとん以外のものにも反応します。2カ所のふとん検知センサーのどちらか一方または両方が検知すると運転を停止します。</p> <p>ふとん検知センサーにふとんなどをかけたとき</p> <p>ふとん検知センサー周辺部を手や体などで覆ったとき</p>		
ブザー(ピピッ、ピピッ…)が鳴り続け、タイマー表示部に「H1」を表示する 	操作部に温風が当たっていませんか？ 暖房機器の近くで使用していませんか？	操作部に温風が当たらないようにしてください。
ブザー(ピー、ピー、ピー…)が鳴り続け、タイマー表示部に「HH」を表示する 	ふとんは正しくセットされていますか？	ふとんを正しくセットしてください。(→P.7~8)
	ふとんは正しくセットされていますか？	ふとんを正しくセットしてください。(→P.7~8)
●「電源/入/切」キーを押して電源を切り、右の項目をご確認の上、ご使用ください。	ノズルを閉じたままで運転していませんか？	ノズルを開いて運転してください。
	吸込口や吹出口がふさがっていませんか？	吸込口・吹出口をふさいでいるものを取り除いてください。
●差し込みプラグをコンセントから抜き、本体を冷ましたあと、右の項目をご確認の上、ご使用ください。	フィルターが汚れていませんか？	お手入れしてください。
	ふとんは正しくセットされていますか？	ふとんを正しくセットしてください。(→P.7~8)

◎いずれの場合にもあてはまらない場合には、型名とともに買い上げの販売店、または弊社のお客様ご相談窓口までお問い合わせください。

仕様

型名	RF-EA20
電源	交流100V 50/60Hz
消費電力	655W/645W
質量	約4.1kg (コードバスケット含む)
外形寸法 (約cm)	コードバスケットなし:幅28×奥行13×高さ35 コードバスケットあり:幅33.5×奥行13×高さ35
コードの長さ	2.0m
タイマー	5~180 (分)
安全装置	電流ヒューズ・温度ヒューズ

●消費電力は、電気用品安全法に基づき室温30℃で運転したときの数値です。

●この製品は、日本国内交流100V専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance was designed for use in Japan only where the local voltage supply is AC100V and should not be used in other countries where the voltage and frequency vary. After-sales service for this appliance is not available outside of Japan.

此产品只针对日本国内专用交流电压100V所设计。由于各国所使用电压或电源频率不同，请勿使用于其它地区。另亦无法对此提供售后维修服务。

此產品為針對日本國內專用交流電壓100V所設計。由於各國所使用電壓或電源頻率不同，請勿於其他地區使用。另亦無法對此提供售後維修服務。

본 제품은 일본 국내교류 100V전용으로 설계되었기에 전압이나 전원 주파수가 상이한 외국에서는 사용할 수 없습니다. A/S 또한 불가능합니다.

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保管のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3. 修理を依頼される時

「故障かなと思ったとき」「こんな表示が出たら」(P.16~17)をご確認のあと、直らない場合は使用を中止し、コンセントから差込みプラグを抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

《保証期間中》

製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

《保証期間を経過しているとき》

修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後6年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

【技術料】は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

【部品代】は、修理に使用した部品および補助材料代です。

【出張料】は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■お客様ご自身での修理・分解や改造は絶対にしないでください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター  **0120-345135**
フリーダイヤル 携帯・PHSからもご利用になれます。

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

- 一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話でのお問い合わせ……………TEL (06)6356-2451(有料)
- FAXでのお問い合わせ……………FAX (06)6356-6143(有料)
 製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」の個人情報は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために、弊社グループ会社および協力会社との間で共同利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

ホームページのご案内

象印マホービン お客様サポートサイト <http://www.zojirushi.co.jp/toiawase/>